

第 94 回 埼玉県内企業経営動向調査－2016 年 1～3 月期－

調査対象：県内企業 568 社 調査方法：アンケート方式（2月上旬 郵送回収）
 回答企業：280 社（回答率 49.3%） 業種別内訳：製造業 164 社 非製造業 116 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回)2015 年 11 月 6 日	121.70	19,265.60
(今回)2016 年 2 月 12 日	112.35	14,952.61

概況

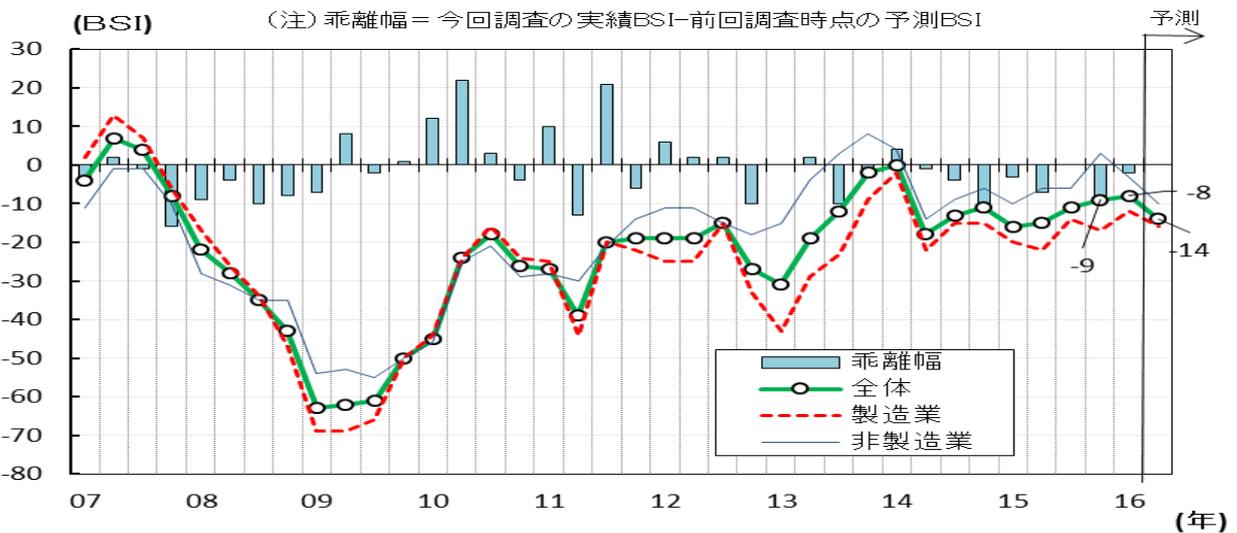
埼玉県内企業の業況感は足踏みが続いている。今回（2016 年 1～3 月期）の業況判断 BSI は、-8 と、前回（2015 年 10～12 月期）比ほぼ横ばいとなっている。

規模別にみると、「規模の小さい企業」（従業員 100 人未満）はやや後退している。一方、「規模の大きい企業」（従業員 100 人以上）は、非製造業の一般建設や運輸・倉庫でプラスが続き、製造業の加工組立業種が持ち直していることから、プラスに転じた。

業種別にみると、製造業は持ち直している。素材型業種では、化学・プラスチック・ゴム製品が電子部品や医療機器向けの受注減少から後退し、鉄鋼・非鉄金属や金属製品が、需要の停滞、素材価格の下落による値下げ圧力の強まりから、低調に推移している。一方、加工組立型業種では、輸送用機械や精密機械で、受注が年度末にむけて上向き、持ち直している。非製造業では、卸売は青果物の単価安、建材・資材卸の需要停滞から、不動産は国内景気の停滞感や急激な株価変動などを背景に後退している。

先行き（2016 年 4～6 月期）の予測業況判断 BSI は-14 とマイナス幅が拡大する。業種別にみると、製造業は、輸送用機械や精密機械が、新年度入り後の受注一服から、後退する見通しである。非製造業では、一般建設が受注の一巡から、小売は、自動車関連、医薬品販売などで、後退する見通しである。

図表 1. 業況 BSI の推移



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」) ～足踏みが続く～

埼玉県内企業の業況感は足踏みが続いている。今回(2016年 1～3 月期)の業況判断 BSI は、-8 と、前回(2015年 10～12 月期)比ほぼ横ばいとなっている。

規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員 100 人未満)はやや後退している。一方、「規模の大きい企業」(従業員 100 人以上)は、非製造業の一般建設や運輸・倉庫でプラスが続き、製造業の加工組立業種が持ち直していることから、プラスに転じた。

業種別にみると、製造業は持ち直している。素材型業種では、化学・プラスチック・ゴム製品が電子部品や医療機器向けの受注減少から後退し、鉄鋼・非鉄金属や金属製品が、需要の停滞、素材価格の下落による値下げ圧力の強まりから、低調に推移している。一方、加工組立型業種では、輸送用機械や精密機械で、受注が年度末にむけて上向き、持ち直している。非製造業では、卸売は青果物の単価安、建材・資材卸の需要停滞から、不動産は国内景気の停滞感や急激な株価変動などを背景に後退している。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2014年		2015年				2016年		2016年 4～6月 (先行き)
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回予想	
全体	-13	-11	-16	-15	-11	-9	-8	-6	-14
100人未満	-14	-15	-19	-20	-15	-14	-17	-11	-19
100人以上	-11	-6	-13	-11	-6	-3	1	0	-8
製造業	-15	-15	-20	-22	-14	-17	-12	-11	-16
100人未満	-22	-20	-26	-29	-15	-22	-18	-11	-16
100人以上	-8	-9	-13	-15	-13	-12	-5	-10	-18
素材型	-15	-6	-17	-27	-23	-23	-30	-15	-28
紙加工品等	0	-17	-9	-33	-8	-8	-25	-8	-33
化学・プラスチック・ゴム製品	-46	-17	-31	-17	-17	-18	-36	9	-21
鉄鋼・非鉄金属	-19	8	-14	-38	-38	-42	-42	-33	-42
金属製品	27	10	-17	-31	0	-33	-33	-33	-50
その他素材型	-33	-13	-14	-18	-42	-15	-15	-8	0
加工組立型	-7	-6	-14	-18	-6	-19	-3	-8	-12
一般機械器具	5	-24	-15	-16	-15	-11	-12	-29	-35
電気・情報通信機械器具	-8	-10	-20	-33	-7	-18	-14	-9	-21
電子部品・デバイス	-7	18	-8	-8	29	-25	-8	-17	15
輸送用機械	-14	-36	-46	-31	-36	-50	8	10	-8
精密機械	-14	23	15	0	0	0	15	17	0
生活関連型	-35	-45	-33	-22	-12	14	4	-10	-8
飲・食料品	8	-40	-17	-18	21	36	17	18	8
印刷・同関連業	-77	-50	-50	-25	-50	-10	-8	-40	-25
その他製造業	-33	-80	-50	-14	-14	-50	0	0	14
非製造業	-9	-6	-10	-6	-6	3	-3	1	-10
100人未満	-2	-8	-8	-7	-15	-4	-15	-11	-25
100人以上	-17	-4	-11	-5	4	10	8	13	3
一般建設	29	22	16	16	0	30	15	30	-10
住宅建設	-31	-8	-8	-23	-33	-17	8	-25	-8
卸売	-29	-29	-36	-22	-6	0	-31	0	0
小売	-12	-19	-26	-21	-19	-4	-5	9	-30
運輸・倉庫	-15	-8	-17	8	8	20	8	-10	0
不動産	-17	-17	0	9	8	0	-29	-8	-14
その他非製造業	7	11	0	0	0	-12	11	-12	0

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業がマイナスに転化～

製造業では、素材型の紙加工品等、化学・プラスチック・ゴム製品、金属製品などでマイナスに転じている。非製造業は、一般建設、運輸・倉庫でプラス幅が縮小し、卸売、不動産がマイナスに転じている。先行きは、製造業では、素材型の紙加工品等、化学・プラスチック・ゴム製品、金属製品などでマイナス幅が縮小する。一方、非製造業では、一般建設などでプラス幅が縮小し、小売でマイナスに転じる見通しとなっている。

図表 3 売上(生産)高 BSI

	(前々回調査) 15年7～9月期	(前回調査) 15年10～12月期	(今回調査) 16年1～3月期	(先行き) 16年4～6月期
全体	3	11	1	-2
製造業	-5	4	-7	-1
非製造業	16	20	14	-4
規模の小さい企業	1	4	-6	-9
規模の大きい企業	6	19	10	4

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でマイナス、非製造業でプラス～

製造業では、素材型の紙加工品等、化学・プラスチック・ゴム製品などでマイナスに転じている。非製造業では、卸売、不動産がマイナスに転じている。先行きは、製造業では、化学・プラスチック・ゴム製品、金属製品、電子部品・デバイスなどがプラスに転じる。一方、非製造業では一般建設、小売でマイナスに転じる見通しとなっている。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 15年7～9月期	(前回調査) 15年10～12月期	(今回調査) 16年1～3月期	(先行き) 16年4～6月期
全体	-3	5	1	-1
製造業	-13	-2	-6	-1
非製造業	11	14	11	-3
規模の小さい企業	-8	-2	-4	-6
規模の大きい企業	1	13	7	3

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～僅かにプラス～

製造業では、電気・情報通信機械器具、輸送用機械、精密機械などが小幅プラスとなっている。先行きは電子部品・デバイスがプラスに転じる見通しである。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 15年7～9月期	(前回調査) 15年10～12月期	(今回調査) 16年1～3月期	(先行き) 16年4～6月期
全体	9	-1	2	4
製造業	12	-1	3	6
非製造業	2	-2	2	0
規模の小さい企業	14	0	4	4
規模の大きい企業	5	-3	0	4

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足感が強まる～

製造業では、生活関連型などで不足感がみられる。非製造業では、一般建設、卸売、小売で不足に転じている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 15年7～9月期	(前回調査) 15年10～12月期	(今回調査) 16年1～3月期	(先行き) 16年4～6月期
全体	2	0	-6	-3
製造業	3	3	-2	2
非製造業	-1	-3	-11	-9
規模の小さい企業	5	2	-7	-3
規模の大きい企業	-2	-1	-6	-4

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足感が強い～

製造業では生活関連型を中心に不足感がみられる。非製造業ではすべての業種で不足感がみられ、一般建設、運輸・倉庫、その他非製造業で不足感が強くなっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 15年7～9月期	(前回調査) 15年10～12月期	(今回調査) 16年1～3月期	(先行き) 16年4～6月期
全体	-18	-19	-24	-17
製造業	-2	-2	-9	-2
非製造業	-40	-43	-43	-37
規模の小さい企業	-12	-19	-22	-16
規模の大きい企業	-24	-19	-26	-18

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～非製造業で若干緩和～

製造業は電子・デバイスなど一部で厳しさがみられる。非製造業では苦しさは若干緩和されている。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 15年7～9月期	(前回調査) 15年10～12月期	(今回調査) 16年1～3月期	(先行き) 16年4～6月期
全体	4	7	7	3
製造業	3	8	4	2
非製造業	4	7	12	6
規模の小さい企業	-6	-2	-2	-4
規模の大きい企業	13	19	17	12

(以上)